



# とねしょうかわらばんビオトープ特集1

がつ にちぼん  
10月19日版



本校のビオトープにハイケボタルを放流しようという取り組みの第一歩として、蛍がふ化できるように砂を入れて水陸移行帯を構築する作業が10月18日に行われました。当日は、刀根山高校の先生をはじめ刀根山高校の生徒さんや地域の方々、保護者の皆様が多数お集まりくださいました。左の写真は刀根山高校の先生と生徒さんが中心になって、砂入れ作業の基礎

になるレンガのはめ込み作業をしてきている場面です。レンガを池の周囲に施し、抜けないように竹杭を打ちます。



砂は、20キロの砂袋を約20袋も箕輪校区の地域の方からご厚意いただきました。砂にはたくさん泥成分が付着していることから、そのままビオトープに入れると水質が悪化するため、砂袋から一旦バケツに砂を入れて手作業で何度も何度も砂洗いをしました。これがとても大変なのですが、地域の方々や保護者の方々、そして保護者の方と一緒に手伝いに来てくれたとねっ子が力を合わせて、わいわいお話ししながらきれいな砂になるまで洗いました。



洗った砂はビオトープに運び、刀根山高校の先生と生徒さんが、左の写真のように池の周囲に砂を入れ込んで、水陸移行帯を完成させて下さいました。今後は、この砂がきちっと落ち着くかを見守り、砂が沈下するようであれば、控えにとってある砂を入れていくことになります。

ハイケボタルの放流は11月中旬です。とても楽しみです。